

令和4年度 モニタリング調査計画（案）

資料4

令和4年度 保護林モニタリング調査計画

森林計画区	署等名	保護林名称	保護林区分	間隔 (年)	R4 実施	R4プ ロット 数	R9 予定	R9プ ロット 数	R14 予定	R19 予定	多様性 基礎調 査点	前回調査結果（平成24・29年度）
下北	下北	恐山山地	森林生態系保護地域	10	○	3			○		-	特に課題は無い
		佐藤ヶ平ヒバ遺伝資源	希少個体群保護林	10			○	2		○	-	特に課題は無い
		二股山ケヤキ遺伝資源	希少個体群保護林	10			○	2		○	-	特に課題は無い
馬淵川上流	岩手北部	八幡平	生物群集保護林	10			○	4		○	-	特に課題は無い
		松森山御堂松	希少個体群保護林	5	○	2	○	2	○	○	1	一部アカマツ枯死木が確認された
		平糠イヌブナ	希少個体群保護林	10	○	2			○		-	特に課題は無い
		夏氷山風穴	希少個体群保護林	10	○	2			○		1	特に課題は無い
宮城北部	宮城北部	栗駒山・栃ヶ森山周辺	森林生態系保護地域	10			○	3		○	-	特に課題は無い
		船形山（御所山）	生物群集保護林	10	○	3			○		-	特に課題は無い
		牧の崎スギ遺伝資源	希少個体群保護林	5	○	2	○	2	○	○	-	ニホンジカの糞等の痕跡が多数確認された
		駒ヶ峰モミ遺伝資源	希少個体群保護林	5	○	2	○	2	○	○	1	ニホンジカの糞等の痕跡が多数確認された
		鱒淵観音堂カヤ遺伝資源	希少個体群保護林	10	○	2			○		-	特に課題は無い
		大峰山クヌギ遺伝資源	希少個体群保護林	5	○	2	○	2	○	○	-	クヌギの実生や稚樹、低木が確認されなかった
		鎌内ブナ遺伝資源	希少個体群保護林	10	○	2			○		-	特に課題は無い
		小黒崎アカシデ遺伝資源	希少個体群保護林	10	○	2			○		-	特に課題は無い
		漆沢岳外山オニグルミ遺伝資源	希少個体群保護林	5	○	2	○	2	○	○	1	オニグルミの実生や稚樹、低木が確認されなかった
		自生山スギ	希少個体群保護林	10			○	3		○	-	特に課題は無い
魚取沼鉄魚	希少個体群保護林	10			○	2		○	-	特に課題は無い		
計		18			12	26	11	26	12	11	4	

令和4年度 緑の回廊モニタリング調査計画

森林計画区	署等名	回廊名称	回廊区分	調査の概要
三八上北外	三八上北外	奥羽山脈	緑の回廊	森林生態系多様性基礎調査プロットにおける森林概況調査、哺乳類及び鳥類調査を実施。

- ・モニタリング間隔は基本的には10年である。
- ・5年前の調査結果及びその他、課題となってきたものがあれば、留意事項として5年間隔とする。
- ・10年間隔となった保護林については、事業量のバランスを取るため、モニタリング間隔についてH29を起点としたものとR4を起点としたものに任意で配分した。